

資料編

1 法令等

- (1) 図書館法
- (2) 図書館の自由に関する宣言
- (3) ユネスコ公共図書館宣言
- (4) 図書館の設置および運営に関する望ましい基準
(平成24年12月)より目標値基準例

2 統計・調査資料

- (1) 鎌倉市図書館統計資料（『鎌倉市の図書館 平成29年度』より）
- (2) 市民アンケート調査結果

3 用語集

1 法令等

（1）図書館法

（昭和二十五年四月三十日法律第百十八号）

最終改正：平成二三年一月一四日法律第一二二号

第一章 総則（第一条—第九条）

第二章 公立図書館（第十条—第二十三条）

第三章 私立図書館（第二十四条—第二十九条）

附則

第一章 総則

（この法律の目的）

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

（図書館奉仕）

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルムの収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

（司書及び司書補）

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

（司書及び司書補の資格）

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

（図書館の補助）

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。

二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。

三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

（都道府県の教育委員会との関係）

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

（国及び地方公共団体との関係）

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

（入館料等）

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

（図書館同種施設）

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

（2）図書館の自由に関する宣言（抜粋）

図書館の自由に関する宣言（抜粋）

1979改訂 社団法人 日本図書館協会

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

(3) ユネスコ公共図書館宣言

ユネスコ公共図書館宣言 1994年

UNESCO Public Library Manifesto
1994

1994年11月採択
原文は英語

社会と個人の自由、繁栄および発展は人間にとっての基本的価値である。このことは、十分に情報を得ている市民が、その民主的権利を行使し、社会において積極的な役割を果たす能力によって、はじめて達成される。建設的に参加して民主主義を発展させることは、十分な教育が受けられ、知識、思想、文化および情報に自由かつ無制限に接し得ることにかかっている。

地域において知識を得る窓口である公共図書館は、個人および社会集団の生涯学習、独自の意思決定および文化的発展のための基本的条件を提供する。

この宣言は、公共図書館が教育、文化、情報の活力であり、男女の心の中に平和と精神的な幸福を育成するための必須の機関である、というユネスコの信念を表明するものである。

したがって、ユネスコは国および地方の政府が公共図書館の発展を支援し、かつ積極的に関与することを奨励する。

公共図書館

公共図書館は、その利用者があらゆる種類の知識と情報をたやすく入手できるようにする、地域の情報センターである。

公共図書館のサービスは、年齢、人種、性別、宗教、国籍、言語、あるいは社会的身分を問わず、すべての人が平等に利用できるという原則に基づいて提供される。理由は何であれ、通常のサービスや資料の利用ができない人々、たとえば言語上の少数グループ(マイノリティ)、障害者、あるいは入院患者や受刑者に対しては、特別なサービスと資料が提供されなければならない。

いかなる年齢層の人々もその要求に応じた資料を見つけ出せなければならない。蔵書とサービスには、伝統的な資料とともに、あらゆる種類の適切なメディアと現代技術が含まれていなければならない。質の高い、地域の要求や状況に対応できるものであることが基本的要件である。資料には、人間の努力と想像の記憶とともに、現今の傾向や社会の進展が反映されていなければならない。

蔵書およびサービスは、いかなる種類の思想的、政治的、あるいは宗教的な検閲にも、また商業的な圧力にも屈してはならない。

情報、識字、教育および文化に関連した以下の基本的使命を公共図書館サービスの核にしなければならぬ。

1. 幼い時期から子供たちの読書習慣を育成し、それを強化する。
2. あらゆる段階での正規の教育とともに、個人的および自主的な教育を支援する。
3. 個人の創造的な発展のための機会を提供する。
4. 青少年の想像力と創造性に刺激を与える。
5. 文化遺産の認識、芸術、科学的な業績や革新についての理解を促進する。
6. あらゆる公演芸術の文化的表現に接しうるようにする。
7. 異文化間の交流を助長し、多様な文化が存立できるようにする。
8. 口述による伝承を援助する。
9. 市民がいかなる種類の地域情報をも入手できるようにする。
10. 地域の企業、協会および利益団体に対して適切な情報サービスを行う。
11. 容易に情報を検索し、コンピューターを駆使できるような技能の発達を促す。
12. あらゆる年齢層の人々のための識字活動とその計画を援助し、かつ、それに参加し、必要があれば、こうした活動を発足させる。

財政、法令、ネットワーク

* 公共図書館は原則として無料とし、地方および国の行政機関が責任を持つものとする。それは特定の法令によって維持され、国および地方自治体により経費が調達されなければならない。公共図書館は、文化、情報提供、識字および教育のためのいかなる長期政策においても、主要な構成要素でなければならない。

* 図書館の全国的な調整および協力を確実にするため、合意された基準に基づく全国的な図書館ネットワークが、法令および政策によって規定され、かつ推進されなければならない。* 公共図書館ネットワークは、学校図書館や大学図書館だけでなく、国立図書館、地域の図書館、学術研究図書館および専門図書館とも関連して計画されなければならない。

運営と管理

- * 地域社会の要求に対応して、目標、優先順位およびサービス内容を定めた明確な方針が策定されなければならない。公共図書館は効果的に組織され、専門的な基準によって運営されなければならない。
- * 関連のある協力者、たとえば利用者グループおよびその他の専門職との地方、地域、全国および国際的な段階での協力が確保されなければならない。
- * 地域社会のすべての人々がサービスを実際に利用できなければならない。それには適切な場所につくられた図書館の建物、読書および勉学のための良好な施設とともに、相応な技術の駆使と利用者に都合のよい十分な開館時間の設定が必要である。同様に図書館に来られない利用者に対するアウトリーチ・サービスも必要である。
- * 図書館サービスは、農村や都会地といった異なる地域社会の要求に対応させなければならない。
- * 図書館員は利用者と資料源との積極的な仲介者である。適切なサービスを確実に行うために、図書館員の専門教育と継続教育は欠くことができない。
- * 利用者がすべての資料源から利益を得ることができるように、アウトリーチおよび利用者教育の計画が実施されなければならない。

宣言の履行

国および地方自治体の政策決定者、ならびに全世界の図書館界が、この宣言に表明された諸原則を履行することを、ここに強く要請する。

この宣言は、国際図書館連盟(IFLA)の協力のもとに起草された。

（4）図書館の設置および運営に関する望ましい基準（平成24年12月）

3 統計・調査資料

(1) 鎌倉市図書館統計資料(『鎌倉市の図書館 平成29年度』より)

		中央	腰越	深沢	大船	玉縄	全館
開館日		338	340	340	340	340	1,698
登録者	①総数	31,798	11,341	13,515	18,805	12,687	88,146
	②うち市内在住者	28,113	9,990	12,882	17,169	11,709	79,863
	①のうち年度内利用	10,756	3,987	5,158	7,033	4,385	31,319
	②のうち年度内利用	9,849	3,547	4,899	6,373	4,019	28,687
新規登録者		1,290	465	513	1,153	523	3,944
来館者		249,185	128,800	154,034	181,119	143,541	856,679
(貸出利用人数)		129,167	67,329	81,591	107,849	65,790	451,726
貸出 (更新含)	図書	338,733	193,990	235,110	281,683	185,221	1,234,737
	雑誌	14,961	11,248	9,417	13,696	8,225	57,547
	AV	14,820	4,813	5,960	9,387	5,301	40,281
	貸出合計	368,514	210,051	250,487	304,766	198,747	1,332,565
予約受付	窓口	22,688	16,081	12,520	14,319	9,593	75,201
	各館OPAC	12,112	4,336	7,964	7,517	5,915	37,844
	WEB	245,785					245,785
	スマホ	26,864					
	携帯	628					628
	予約受付合計	308,077	20,417	20,484	21,836	15,508	386,322
WEB,OPAC リクエスト		16,854					16,854

【2016(平成29年度)との比較 特記事項】

*開館日数は同じ。

*開館時間は2017年6月～8月の試行により、大船図書館は3時間増、玉縄図書館は52時間減

*登録者数は、4,515人増(新規登録者、長期末利用者の復活による)

*貸出利用人数は、5,478人減 *貸出総数は、17,187減

*予約受付点数は、17,999点増 *WEB,OPACから利用者が入力したリクエスト件数は、230増

		中央	3次鎌倉市図書館サ 腰越	深沢	ビス計画 大船	2018.10.31現在(案) 玉縄	全館
購入	図書(一般)	2,363	1,256	1,122	1,245	1,492	7,478
	図書(児童)	424	465	839	500	472	2,700
	図書(参考)	219	16	29	16	27	307
	図書(郷土)	201	1	2	2	3	209
	図書計	3,207	1,738	1,992	1,763	1,994	10,694
	雑誌	1,777	1,015	837	1,068	901	5,598
	AV	7	0	2	23	7	39
	購入計	4,991	2,753	2,831	2,854	2,902	16,331
寄贈 その他	図書(一般)	2,285	1,022	906	1,074	573	5,860
	図書(児童)	690	398	474	334	114	2,010
	図書(参考)	37	2	4	2	2	47
	図書(郷土)	474	90	61	16	146	787
	図書計	3,486	1,512	1,445	1,426	835	8,704
	雑誌	386	239	73	144	140	982
	AV	160	6	88	51	65	370
	寄贈計	4,032	1,757	1,606	1,621	1,040	10,056
受入計	図書	6,693	3,250	3,437	3,189	2,829	19,398
	雑誌	2,163	1,254	910	1,212	1,041	6,580
	AV	167	377	161	107	72	409
	受入計	9,023	4,881	4,508	4,508	3,942	26,387
除籍	図書	5,971	3,109	4,448	2,073	2,950	18,551
	雑誌	2,242	959	891	1,128	968	6,188
	AV	142	61	181	37	46	467
	除籍計	8,355	4,129	5,520	3,238	3,964	25,206
蔵書数 (30.3.31)	図書	255,887	72,579	95,964	63,450	69,269	557,149
	雑誌	3,877	36,942	1,568	2,177	1,597	46,161
	AV	14,996	1,443	1,149	1,862	1,338	20,788
	蔵書計	274,760	110,964	98,681	67,489	72,204	624,098
蔵書数 (29.3.31)	図書	261,950	72,855	87,602	63,080	70,114	555,601
	雑誌	4,255	36,256	1,591	2,136	1,545	45,783
	AV	14,960	1,498	1,257	1,868	1,361	20,944
	蔵書計	281,165	110,609	90,450	67,084	73,020	622,328
年度増減	図書	-6,063	-276	8,362	370	-845	1,548
	雑誌	-378	686	-23	41	52	378
	AV	36	-55	-108	-6	-23	-156
	蔵書計	-6,405	355	8,231	405	-816	1,770

*29年度に、中央図書館閉架書庫より、深沢図書館閉架書庫へ児童書の移管を行いました。

(2) 市民アンケート調査結果

「鎌倉市図書館サービス計画」策定に向けたアンケート調査結果

無作為抽出した 2,000 人の 18 歳以上の市民への郵送、および市内各図書館において配布し、アンケート調査を実施した調査結果です。郵送での市民アンケートには 874 件（有効回収率 43.4%）、館内での利用者アンケートには、1279 件の回答を得られました。ご協力ありがとうございました。

以下下記の様に記載します。

市内各図書館において配布回収アンケート = 来館者アンケート

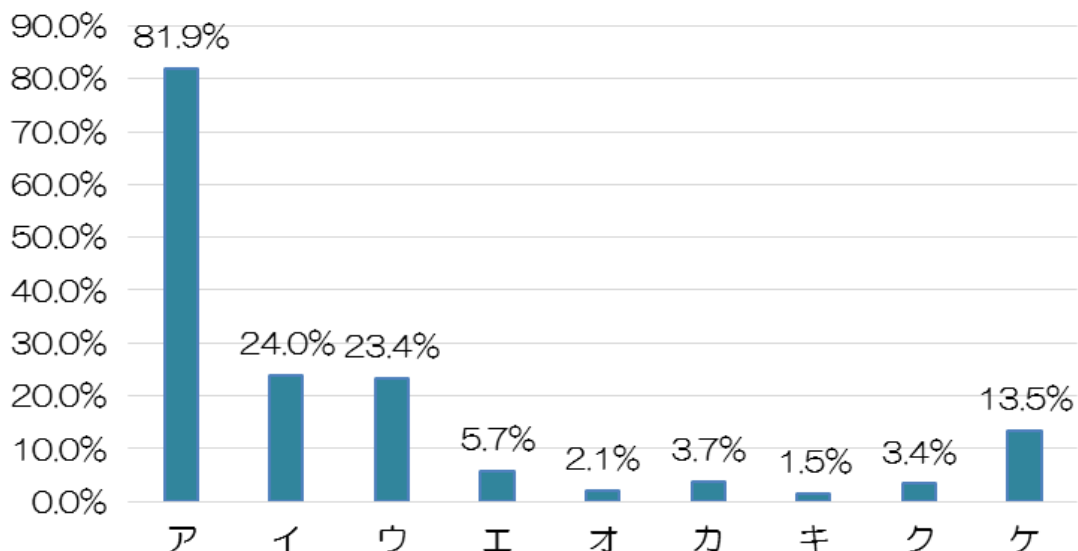
無作為抽出による郵送アンケート = 市民アンケート

1. どのような目的で来館されましたか？（複数回答可）

<来館者アンケートと市民アンケートを足しています>

- ア. 資料を借りる、返す 1618 人
- イ. 自分で資料を探す、予約する 475 人
- ウ. 館内で新聞・雑誌等を読む 465 人
- エ. 調査・研究 113 人
- オ. 図書館員に調べ物を手伝ってもらう 42 人
- カ. 行事参加 73 人
- キ. インターネット・データベースの利用 30 人
- ク. なんとなく 67 人
- ケ. その他 265 人

利用目的



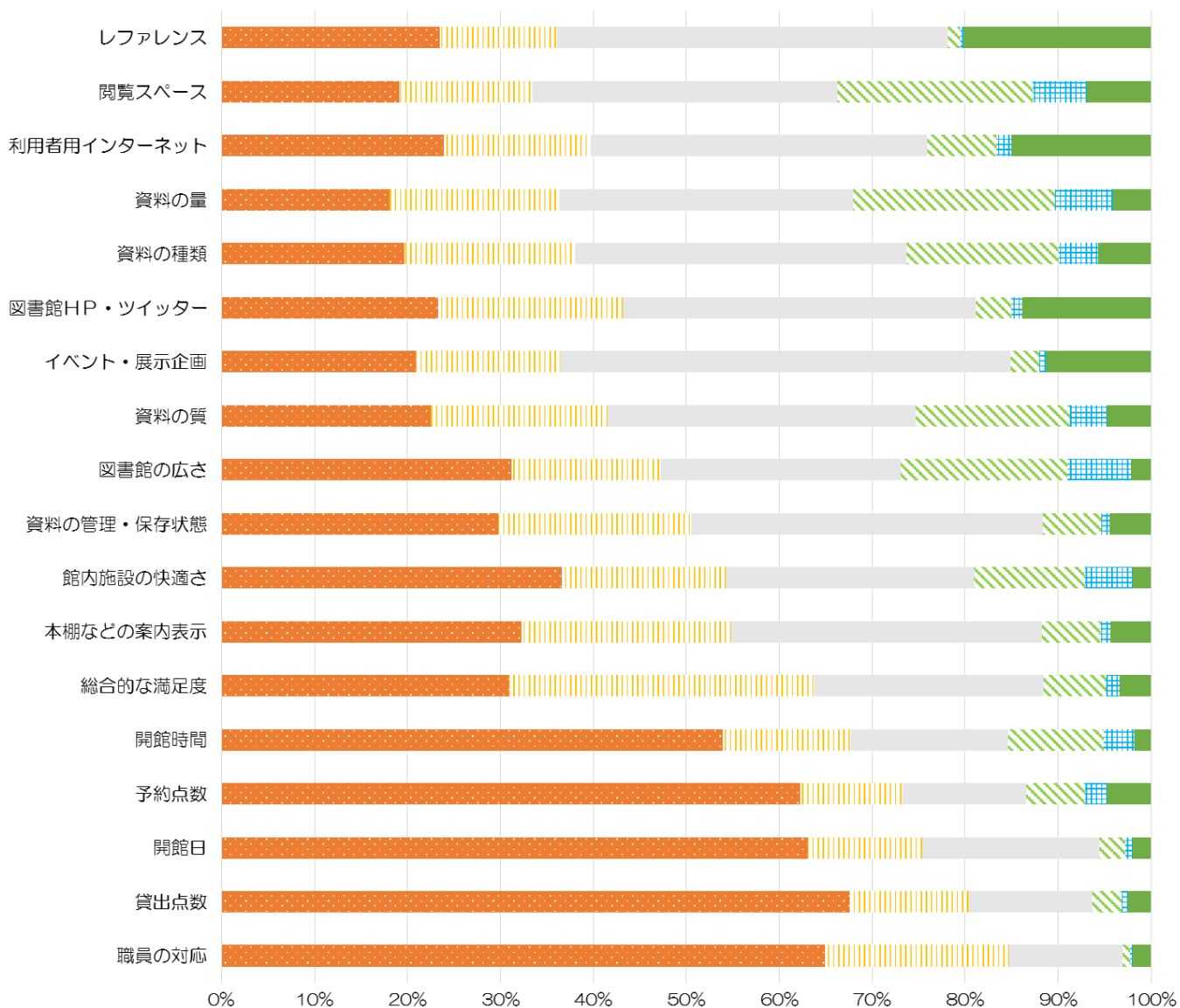
2. 鎌倉市の図書館の満足度についてお尋ねします。(来館者のみ)

(人) (点)

	満足 (5)	やや 満足 (4)	普通 (3)	やや 不満 (2)	不満 (1)	無回答 (0)	平均
貸出点数	845	159	167	41	7	32	4.4
予約点数	770	136	165	78	29	60	4.1
開館時間	683	174	215	130	42	23	4.0
開館日	799	156	243	35	10	25	4.3
館内施設の快適さ	461	222	337	149	66	25	3.6
図書館の広さ	394	202	326	226	87	27	3.4
資料の質	281	238	416	207	50	59	3.3
資料の量	226	229	395	273	78	51	3.1
資料の種類	245	228	445	204	53	71	3.2
資料の管理・保存状態	371	259	471	78	11	56	3.6
職員の対応	824	250	155	10	4	25	4.4
案内表示	402	281	419	78	13	55	3.7
イベント・展示企画	251	186	581	37	8	137	3.2
図書館ホームページ・ツイッター	275	235	448	45	14	165	3.2
レファレンス (調査研究のお手伝い)	269	145	482	15	5	232	3.0
閲覧スペース	235	175	402	259	71	85	3.0
利用者用インターネット	281	186	425	88	18	178	3.1
総合的な満足度	388	411	309	86	17	43	3.7

鎌倉市の図書館の満足度について（来館者）

■大変満足 ■やや満足 ■普通 ■やや不満 ■不満 ■無回答

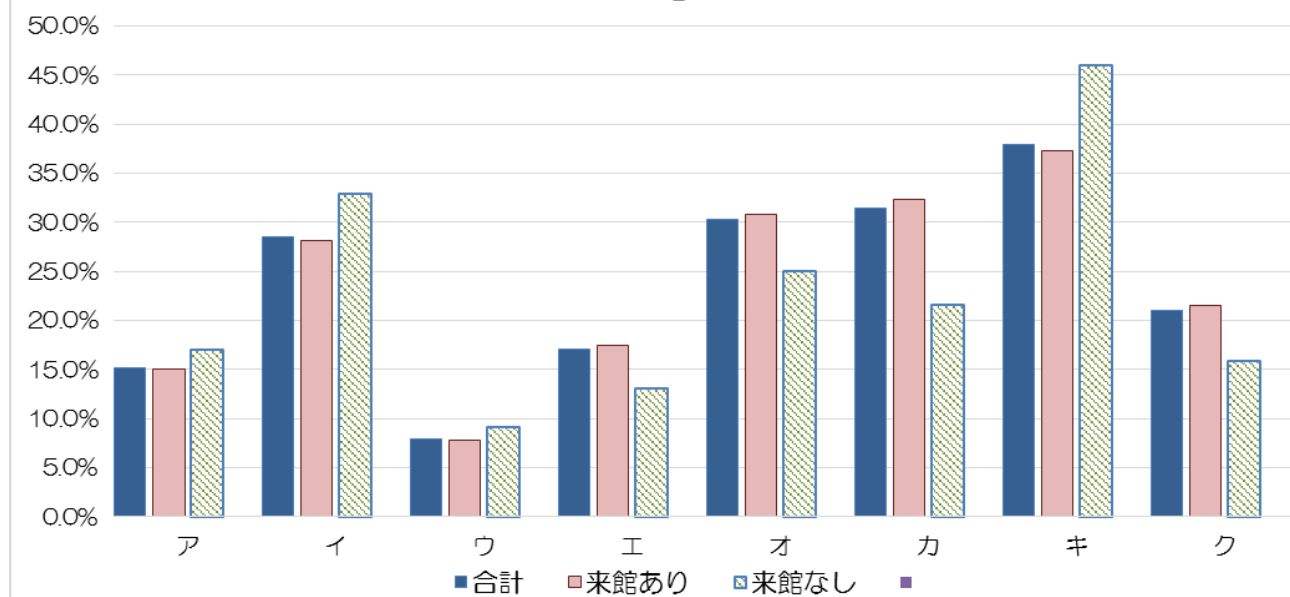


3. 図書館サービスについて、現在行っていないけれど、今後鎌倉市図書館に必要なと思うサービスがありましたら、○をしてください。（来館アンケート）

＜来館者アンケートと市民アンケートを足し、来館者と非来館者を分けて集計しました＞

		合計 (人)		来館あり (人)		来館なし (人)	
ア	電子書籍の貸出	327	15.2%	296	15.0%	30	17.0%
イ	無料で使えるWi-fi	617	28.6%	555	28.2%	58	33.0%
ウ	タブレット端末の貸出	172	7.9%	154	7.8%	16	9.1%
エ	音楽データベース	369	17.1%	343	17.4%	23	13.1%
オ	図書館HPやメールによるおすすめ本や新着本、イベントなどの情報提供	654	30.3%	607	30.8%	44	25.0%
カ	他の利用者に気兼ねしないですむ子どものためのスペースまたは静読室	677	31.5%	637	32.4%	38	21.6%
キ	カフェ・公園（広場）などとの複合化	819	38.0%	734	37.3%	81	46.0%
ク	その他	454	21.1%	424	21.5%	28	15.9%

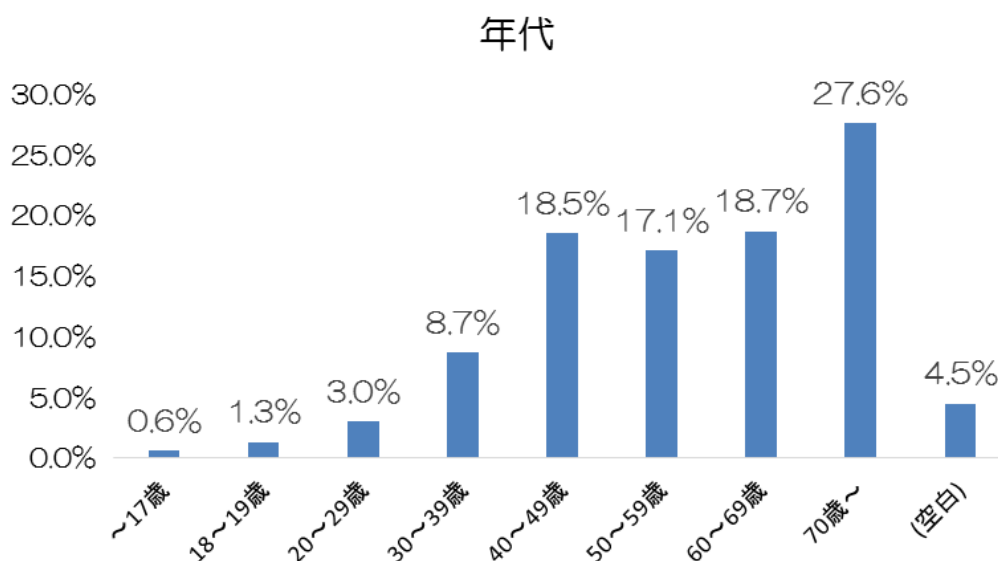
必要があると思うサービス



4. 最後にご自身についておたずねします

(1) 年代 <来館者アンケートと市民アンケートを足しています>

- ア. 18歳～19歳 28人(0.6%) イ. 20歳～29歳 65人(13%)
- ウ. 30歳～39歳 188人(3.0%) エ. 40歳～49歳 399人(18.5%)
- オ. 50歳～59歳 367人(17.1%) カ. 60歳～69歳 401人(18.7%)
- キ. 70歳以上 594人(27.6%) ク. ～17歳 13人(4.5%)
- ケ. 不明 97人 計2146

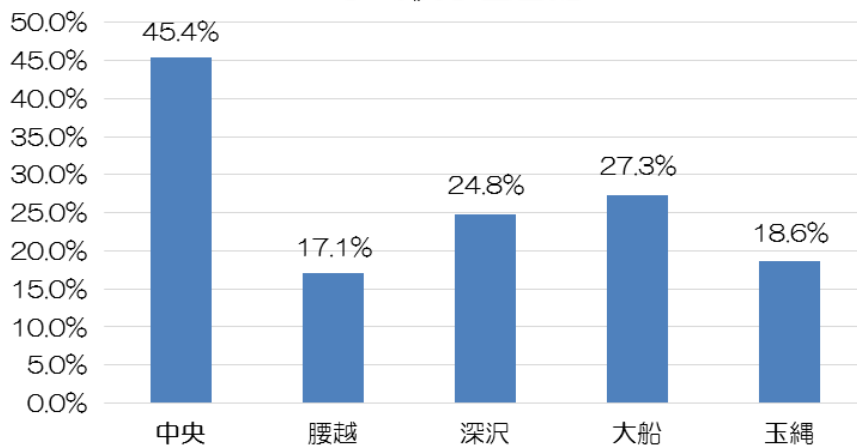


(2) よく使う図書館（複数回答可）

<来館者アンケートと市民アンケートを足しています>

- ア. 中央図書館 896人 イ. 腰越図書館 339人 ウ. 深沢図書館 491人
- エ. 大船図書館 541人 オ. 玉縄図書館 367人

よく使う図書館

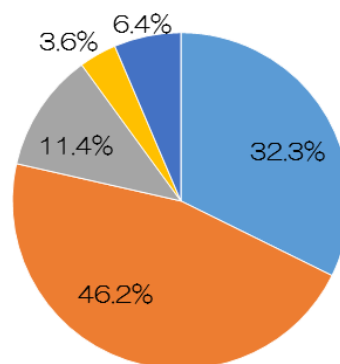


(3) 利用頻度（来館者のみ）

＜来館者アンケートより＞

- ア. 週に1日以上 413人
- イ. 月に2、3回 592人
- ウ. 月に1回程度 146人
- エ. その他 46人
- 不明 82人

利用頻度



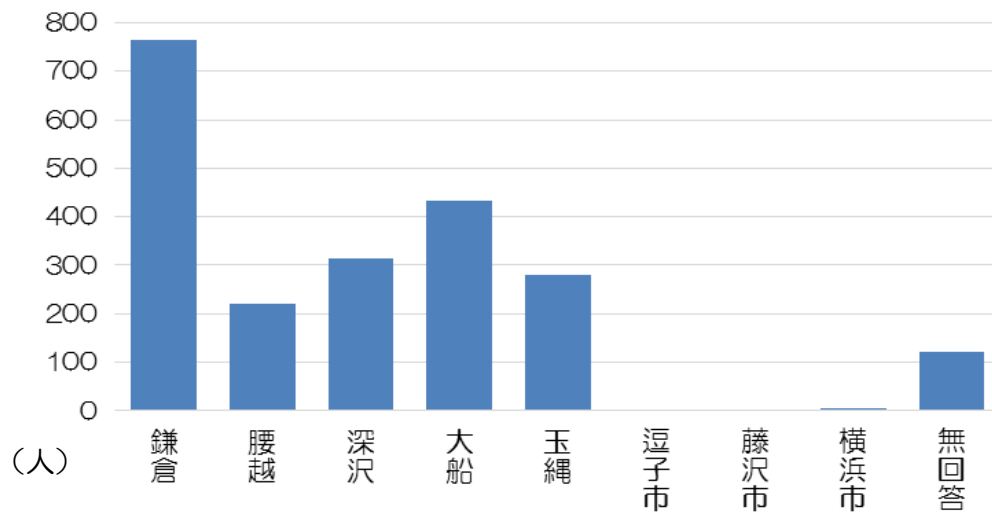
■ 週に1日以上 ■ 月に2、3回 ■ 月に1回程度 ■ その他 ■ 不明

(4) お住まいの地域

＜来館者アンケートと市民アンケートを足しています＞

- ア. 鎌倉地域 767人
- イ. 腰越地域 222人
- ウ. 深沢地域 316人
- エ. 大船地域 433人
- オ. 玉縄地域 281人
- その他（逗子市 3人 藤沢市 3人 横浜市 6人 無回答 121人）

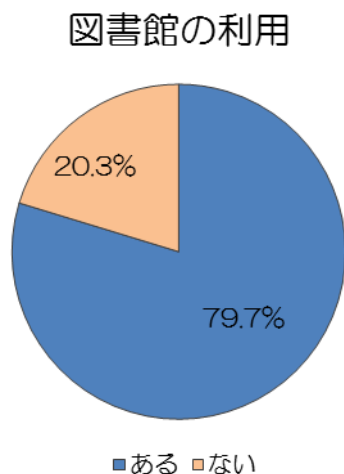
居住地別回答者数



以下の設問は、市民アンケートのみ

1. これまでに鎌倉市図書館を利用されたことはありますか？

ア. ある 696人 イ. ない 176人



3. 利用したことがない理由に○をつけてください

ア. 本を読んでいない 39人 イ. 本を借りに行くのが面倒 65人

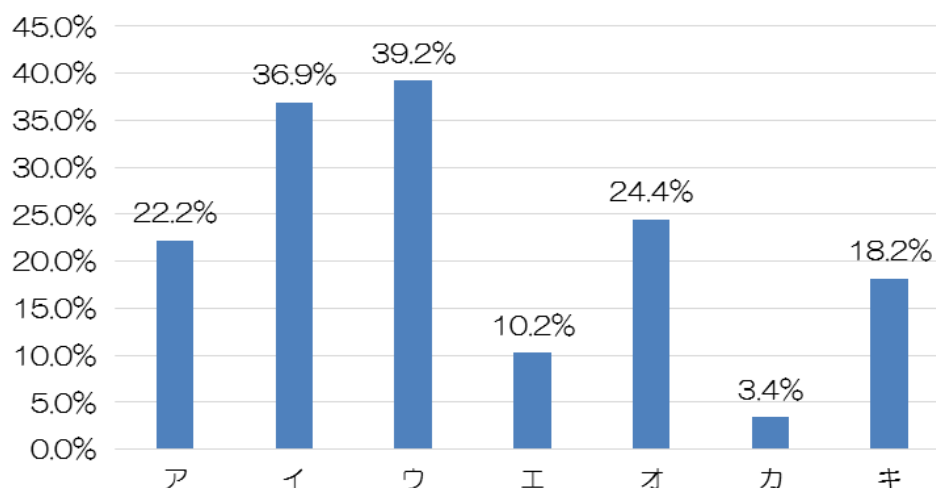
ウ. 本は購入する考えなので必要がない 69人 エ. 開館時間等が合わない 18人

オ. 図書館の場所が分からない、不便だ 43人

カ. 子どもが迷惑かけそうで行きづらい 6人

キ. その他 32人

利用したことがない理由

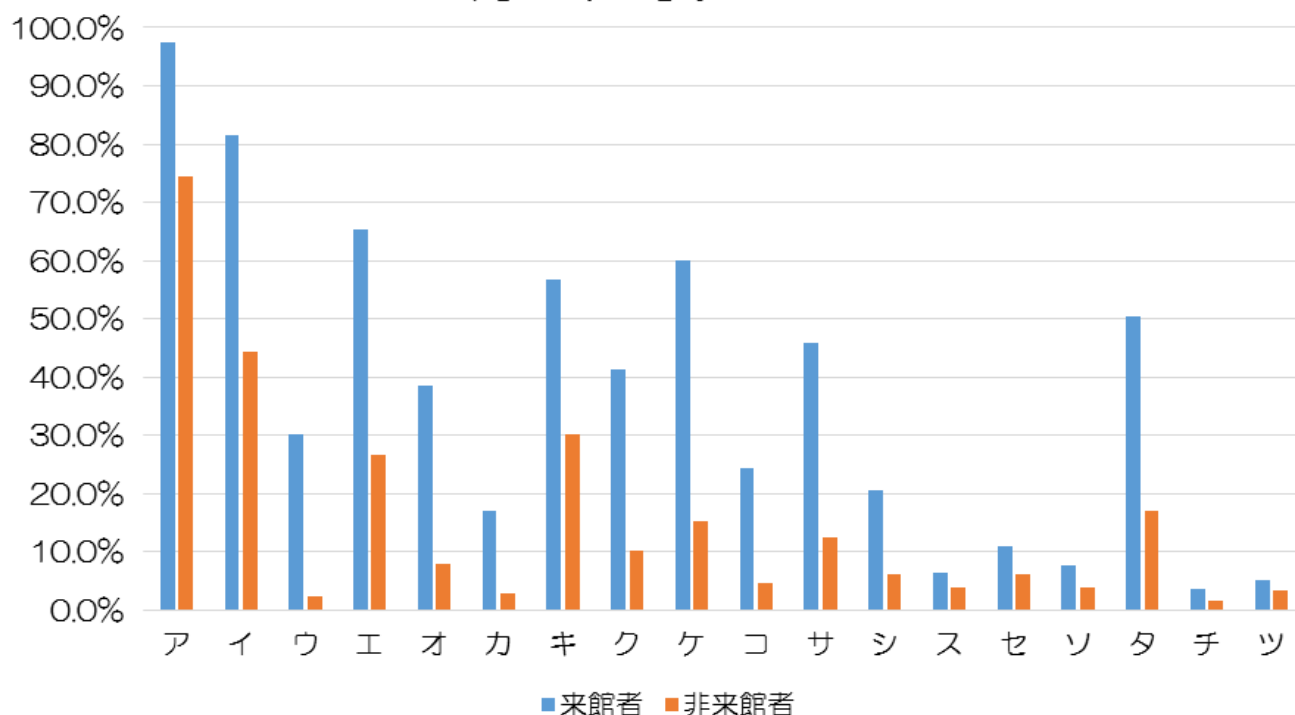


6 図書館では現在下記の業務を行っています。ご存知のものに○をつけてください。

	サービス項目	知っている と答えた割合	来館者	非来館者
ア	自由に館内で本や新聞、雑誌を読んだり、選んだりできる	92.6%	97.4%	74.4%
イ	資料が無料で貸りられる	73.8%	81.5%	44.3%
ウ	平日の木曜と金曜は19時で開館している	24.5%	30.2%	2.3%
エ	資料のコピーが取れる（著作権範囲内、有料）	57.4%	65.3%	26.7%
オ	紙芝居舞台や大型絵本なども借りることができる	32.3%	38.5%	8.0%
カ	自動貸出機がある	14.2%	17.1%	2.8%
キ	図書館員が資料を探す相談や、調べ物の相談にのる	51.3%	56.7%	30.1%
ク	図書館ホームページから蔵書検索や予約・貸出期間の延長などが出来る	34.9%	41.2%	10.2%
ケ	図書館にない本をリクエストできる （市内在住・在勤・在学の方のみ）	50.8%	59.9%	15.3%
コ	市外・県外・国会図書館から本の取り寄せができる （市内在住・在勤・在学の方のみ）	20.3%	24.3%	4.5%
サ	子ども向けの催し物（おはなしかい等）の実施	39.1%	45.9%	12.5%
シ	一般向けの催し物（展示会・映画会・講座等）の実施	17.7%	20.7%	6.3%
ス	障がい者サービス（録音図書デージー・点字本の 郵送貸出・本の読み上げ機器の設置など）	6.0%	6.5%	4.0%

セ	ブックスタート（子育て支援として、鎌倉市で生まれたすべての赤ちゃんに絵本をプレゼント）	9.9%	10.9%	6.3%
ソ	小中学校への図書の貸出等、学校支援の実施	6.9%	7.7%	4.0%
タ	館内でインターネット検索、データベースが利用できる	43.5%	50.4%	17.0%
チ	図書宅配サービスがある（実費、返却可）	3.2%	3.6%	1.7%
ツ	デジタル資料（鎌倉に関係ある古文書・古地図など）を図書館ホームページから見られる	4.8%	5.2%	3.4%

知っているサービス



第3次鎌倉市図書館サービス計画 2018.10.31 現在（案）

アンケート対象：18歳以上の市民から無作為抽出

郵送数	2000	回答数	874	回答率	43.4%
-----	------	-----	-----	-----	-------

7（1）年代

	人	
18～19歳	11	1.3%
20～29歳	41	4.7%
30～39歳	73	8.3%
40～49歳	140	15.9%
50～59歳	152	17.5%
60～69歳	168	19.4%
70歳以上	282	32.3%

7（2）地域

	人	
鎌倉地区	327	37.6%
腰越地区	104	11.8%
深沢地区	115	13.1%
大船地区	208	23.8%
玉縄地区	111	12.8%

1 これまでに鎌倉市の図書館を利用されたことはありますか？

回答者全体

ある	696	ない	176
----	-----	----	-----

年代別

	人数		年代ごとの割合	
	来館あり	来館なし	来館あり	来館なし
18～19歳	11	0	100.0%	0.0%
20～29歳	26	15	63.4%	36.6%
30～39歳	60	13	81.9%	18.1%
40～49歳	122	18	87.0%	13.0%
50～59歳	126	26	82.9%	17.1%
60～69歳	140	28	83.3%	16.7%
70歳以上	208	74	73.6%	26.4%

地域別

	人数		地域ごとの割合	
	来館あり	来館なし	来館あり	来館なし
鎌倉地区	254	71	78.1%	21.9%
腰越地区	85	18	82.2%	17.8%
深沢地区	99	16	86.0%	14.0%
大船地区	161	47	77.3%	22.7%
玉縄地区	91	20	82.0%	18.0%

- 2 1で「利用したことがある」に○をつけた方におたずねします。
 利用されたことがある館すべてに○をつけてください（複数回答可）。

	人数	割合
中央	421	60.6%
腰越	172	24.5%
深沢	192	27.5%
大船	265	38.1%
玉縄	154	22.3%

- 3 1で「利用したことがある」に○をつけた方におたずねします。
 その時、どのような目的で来館されましたか？（複数回答可）

ア	借りる返す	542	77.9%
イ	探す、予約	301	43.1%
ウ	新聞、雑誌	304	43.4%
エ	調査研究	59	8.4%
オ	図書館員に調べ物を手伝ってもらう	25	3.6%
カ	行事参加	51	7.4%
キ	インターネット、DB	17	2.5%
ク	なんとなく	51	7.4%
ケ	その他	58	8.4%

第3次鎌倉市図書館サービス計画 2018.10.31 現在（案）

4 1で「利用したことがない」に○をつけた方におたずねします。

利用したことがない理由に○をつけてください（複数回答可）。

	総数	ア. 本を読んでいない		イ. 本を借りに行くのが面倒		ウ. 本は購入する考えないので必要がない		エ. 開館時間等が合わない		オ. 図書館の場所が分からない、不便だ		カ. 子どもが迷惑をかけそうで行きづらい		キ. その他	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
非来館者	176	36	20.5%	64	36.4%	64	36.4%	17	9.7%	42	23.9%	6	3.4%	31	17.6%
20～29歳	15	6	40.0%	5	33.3%	1	6.7%	1	6.7%	7	46.7%	1	6.7%	1	6.7%
30～39歳	13	6	46.2%	4	30.8%	3	23.1%	2	15.4%	4	30.8%	3	23.1%	1	7.7%
40～49歳	18	4	22.2%	8	44.4%	7	38.9%	2	11.1%	2	11.1%	1	5.6%	3	16.7%
50～59歳	26	2	7.7%	9	34.6%	4	15.4%	10	38.5%	10	38.5%	0	0.0%	9	34.6%
60～69歳	28	6	21.4%	12	42.9%	12	42.9%	0	0.0%	3	10.7%	0	0.0%	5	17.9%
70歳～	74	11	14.9%	26	35.1%	36	48.6%	2	2.7%	16	21.6%	1	1.4%	12	16.2%
空白	2	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

（※18～19歳は非来館者0人のため、省略）

第3次鎌倉市図書館サービス計画 2018.10.31 現在（案）

5 図書館では現在下記のサービスを行っています。ご存知のものに○をつけてください（複数回答可）

	ア		イ		ウ		エ		オ	
	自由に館内で本や新聞・雑誌を読んだり、選んだりできる		資料が無料で借りられる		平日の木・近は19時まで開館している		資料のコピーが取れる（著作権範囲内、有料）		紙芝居舞台や大型絵本なども借りることができる	
合計	809	92.7%	641	73.9%	213	24.6%	498	57.4%	280	32.3%
来館あり	673	97.4%	563	81.5%	209	30.2%	451	65.3%	266	38.5%
18～19歳	11	100.0%	9	81.8%	2	18.2%	3	27.3%	5	45.5%
20～29歳	26	100.0%	21	80.8%	5	19.2%	14	53.8%	12	46.2%
30～39歳	58	96.6%	54	89.8%	20	33.9%	38	62.7%	31	50.8%
40～49歳	118	96.7%	107	88.3%	44	35.0%	75	60.8%	75	61.7%
50～59歳	125	99.2%	107	84.9%	40	31.7%	91	72.2%	62	49.2%
60～69歳	136	97.1%	108	77.1%	38	27.1%	87	62.1%	36	25.7%
70歳～	201	96.6%	157	75.7%	60	29.1%	148	70.9%	47	22.8%
(空白)	3	100.0%	3	100.0%	2	66.7%	0	0.0%	0	0.0%
来館なし	131	74.4%	78	44.3%	4	2.3%	47	26.7%	14	8.0%
18～19歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20～29歳	9	60.0%	4	26.7%		0.0%	1	6.7%	0	0.0%
30～39歳	13	100.0%	10	76.9%	1	7.7%	3	23.1%	5	38.5%
40～49歳	15	83.3%	10	55.6%	1	5.6%	8	44.4%	3	16.7%
50～59歳	19	73.1%	12	46.2%	0	0.0%	8	30.8%	2	7.7%
60～69歳	23	82.1%	13	46.4%	1	3.6%	9	32.1%	2	7.1%
70歳～	51	68.9%	27	36.5%	1	1.4%	17	23.0%	1	1.4%
(空白)	1	50.0%	2	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%

第3次鎌倉市図書館サービス計画 2018.10.31 現在（案）

	カ		キ		ク		ケ		コ	
	自動貸出機がある		図書館員が資料を探す相談や、調べ物の相談を受けることができる		図書館HPから蔵書検索や予約・貸出し期限の延長ができる		図書館にない本をリクエストできる		市外・県外・国会図書館から本の取り寄せができる	
合計	123	14.2%	445	51.3%	303	34.9%	441	50.9%	176	20.3%
来館あり	118	17.1%	392	56.7%	285	41.2%	414	59.9%	168	24.3%
18～19歳	2	18.2%	5	45.5%	5	45.5%	5	45.5%	5	45.5%
20～29歳	5	19.2%	17	65.4%	15	57.7%	16	61.5%	6	23.1%
30～39歳	17	28.8%	27	45.8%	34	57.6%	37	62.7%	11	18.6%
40～49歳	26	20.8%	76	62.5%	56	45.0%	77	63.3%	33	26.7%
50～59歳	19	15.1%	78	61.9%	62	49.2%	85	67.5%	44	34.9%
60～69歳	24	17.1%	71	50.7%	52	37.1%	84	60.0%	29	20.7%
70歳～	25	12.1%	120	57.3%	63	30.1%	111	53.4%	41	19.9%
(空白)	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%	0	0.0%
来館なし	5	2.8%	53	30.1%	18	10.2%	27	15.3%	8	4.5%
18～19歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20～29歳		0.0%	2	13.3%	3	20.0%	2	13.3%	0	0.0%
30～39歳	1	7.7%	5	38.5%	1	7.7%	2	15.4%	0	0.0%
40～49歳	1	5.6%	7	38.9%	4	22.2%	6	33.3%	1	5.6%
50～59歳		0.0%	12	46.2%	0	0.0%	4	15.4%	2	7.7%
60～69歳	0	0.0%	8	28.6%	3	10.7%	3	10.7%	1	3.6%
70歳～	2	2.7%	18	24.3%	6	8.1%	9	12.2%	3	4.1%
(空白)	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%

第3次鎌倉市図書館サービス計画 2018.10.31 現在（案）

	サ		シ		ス		セ		ソ	
	子ども向けの催し物の実施		一般向けの催し物（展示会・映画会・講座等）の実施		障がい者サービス（録音図書デジタルの郵送貸出、拡大読書機や本の読み上げ機器の設置など）の実施		ブックスタート（鎌倉市で生まれたすべての赤ちゃんに絵本をプレゼントする子育て支援）の実施		小中学校への図書の貸出等、学校支援の実施	
合計	339	39.1%	154	17.8%	52	6.0%	86	9.9%	60	6.9%
来館あり	317	45.9%	143	20.7%	45	6.5%	75	10.9%	53	7.7%
18～19歳	7	63.6%	4	36.4%		0.0%	1	9.1%	1	9.1%
20～29歳	16	61.5%	5	19.2%	3	11.5%		0.0%	5	19.2%
30～39歳	37	62.7%	6	10.2%	1	1.7%	25	42.4%	8	13.6%
40～49歳	83	68.3%	31	25.0%	8	6.7%	36	29.2%	12	9.2%
50～59歳	72	57.1%	32	25.4%	14	11.1%	5	4.0%	12	9.5%
60～69歳	52	37.1%	23	16.4%	8	5.7%	3	2.1%	8	5.7%
70歳～	49	23.8%	43	20.9%	11	5.3%	4	1.9%	8	3.9%
(空白)	2	66.7%		0.0%		0.0%	2	66.7%		0.0%
来館なし	22	12.5%	11	6.3%	7	4.0%	11	6.3%	7	4.0%
18～19歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20～29歳	2	13.3%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30～39歳	6	46.2%	2	15.4%	2	15.4%	5	38.5%	2	15.4%
40～49歳	6	33.3%	1	5.6%	1	5.6%	4	22.2%	0	0.0%
50～59歳	2	7.7%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
60～69歳	4	14.3%	3	10.7%	2	7.1%	1	3.6%	1	3.6%
70歳～	1	1.4%	3	4.1%	1	1.4%	1	1.4%	4	5.4%
(空白)	1	50.0%		0.0%	1	50.0%		0.0%		0.0%

第3次鎌倉市図書館サービス計画 2018.10.31 現在（案）

	タ		チ		ツ	
	館内でインターネット検索、DBが利用できる		図書宅配サービスがある（実費、返却可）		デジタル資料（鎌倉に関係ある古文書、古地図など）を図書館HPから見られる	
合計	378	43.6%	28		42	4.8%
来館あり	348	50.4%	25	3.6%	36	5.2%
18～19歳	5	45.5%	0	0.0%	1	9.1%
20～29歳	16	61.5%	2	7.7%	2	7.7%
30～39歳	34	57.6%	3	5.1%	2	3.4%
40～49歳	77	62.5%	8	6.7%	6	5.0%
50～59歳	79	62.7%	6	4.8%	7	5.6%
60～69歳	71	50.7%	2	1.4%	10	7.1%
70歳～	69	32.5%	4	1.9%	8	3.9%
(空白)	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
来館なし	30	17.0%	3	1.7%	6	3.4%
18～19歳		0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20～29歳	4	26.7%	0	0.0%	0	0.0%
30～39歳	5	38.5%	0	0.0%	0	0.0%
40～49歳	5	27.8%	0	0.0%	0	0.0%
50～59歳	6	23.1%	0	0.0%	0	0.0%
60～69歳	5	17.9%	0	0.0%	2	7.1%
70歳～	4	5.4%	3	4.1%	3	4.1%
(空白)	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%

6. このほかに今後図書館に必要があると思うサービスがあったら、○をつけてください
（複数回答可）

来館者アンケート（以下館内）＋郵送アンケート回答者のうち来館者（以下郵送）

年代

	館内	郵送	計	
～17歳	13	0	13	0.7%
18～19歳	17	11	28	1.4%
20～29歳	24	26	50	2.5%
30～39歳	115	60	174	8.8%
40～49歳	259	122	379	19.2%
50～59歳	215	126	341	17.3%
60～69歳	233	140	373	18.9%
70歳～	312	208	517	26.3%
(空白)	91	3	94	4.8%
総計	1278	691	1969	100.0%

地域

	館内	郵送	計	割合
鎌倉地区	442	254	694	35.2%
腰越地区	118	85	201	10.2%
深沢地区	201	99	299	15.2%
大船地区	225	161	385	19.6%
玉縄地区	170	91	261	13.3%
逗子市	3	0	3	0.2%
藤沢市	3	0	3	0.2%
横浜市	6	0	6	0.3%
(空白)	111	6	117	5.9%
総計	1278	691	1969	100.0%

利用図書館（複数回答可）

	館内	郵送	計	
中央	476	420	893	45.4%
腰越	167	172	336	17.1%
深沢	300	191	489	24.8%
大船	277	263	538	27.3%
玉縄	214	153	367	18.6%
総計	1433	1190	2623	

利用目的（年代別）

	ア 資料を借り返す (人)		イ 自分で資料を探す、予約 (人)		ウ 新聞、雑誌等を読む (人)		エ 調査・研究 (人)		オ 図書館員に調べ物を手伝ってもらう (人)	
	～17歳	11	84.6%	5	38.5%		0.0%	1	7.7%	0
18～19歳	17	60.7%	5	17.9%	5	17.9%	6	21.4%	0	0.0%
20～29歳	43	86.0%	15	30.0%	8	16.0%	9	18.0%	1	2.0%
30～39歳	139	79.9%	42	24.1%	29	16.7%	11	6.3%	3	1.7%
40～49歳	326	86.0%	73	19.3%	68	17.9%	9	2.4%	5	1.3%
50～59歳	296	86.8%	92	27.0%	81	23.8%	19	5.6%	9	2.6%
60～69歳	309	82.8%	90	24.1%	104	27.9%	25	6.7%	6	1.6%
70歳～	402	77.8%	140	27.1%	157	30.4%	30	5.8%	16	3.1%
(空白)	70	74.5%	10	10.6%	9	9.6%	2	2.1%	1	1.1%
総計	1613	81.9%	472	24.0%	461	23.4%	112	5.7%	41	2.1%

	カ 行事参加 (人)		キ インターネット、DB (人)		ク なんとなく (人)		ケ その他 (人)	
	～17歳	2	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	1
18～19歳	0	0.0%	0	0.0%	1	3.6%	8	28.6%
20～29歳	0	0.0%	0	0.0%	2	4.0%	10	20.0%
30～39歳	13	7.5%	4	2.3%	7	4.0%	37	21.3%
40～49歳	20	5.3%	6	1.6%	21	5.5%	43	11.3%
50～59歳	6	1.8%	4	1.2%	16	4.7%	52	15.2%
60～69歳	14	3.8%	6	1.6%	7	1.9%	39	10.5%
70歳～	17	3.3%	10	1.9%	10	1.9%	68	13.2%
(空白)	1	1.1%	0	0.0%	3	3.2%	7	7.4%
総計	73	3.7%	30	1.5%	67	3.4%	265	13.5%

必要だと思うサービス（年代別）

	ア 電子書籍の貸出 (人)		イ 無料で使えるW i - f i (人)		ウ タブレット端末の貸出 (人)		エ 音楽データベース (人)	
	～17歳	5	38.5%	4	30.8%	3	23.1%	3
18～19歳	5	17.9%	13	46.4%	5	17.9%	8	28.6%
20～29歳	13	26.0%	24	48.0%	3	6.0%	11	22.0%
30～39歳	36	20.7%	74	42.5%	11	6.3%	30	17.2%
40～49歳	79	20.8%	148	39.1%	38	10.0%	86	22.7%
50～59歳	75	22.0%	125	36.7%	26	7.6%	78	22.9%
60～69歳	40	10.7%	100	26.8%	35	9.4%	67	18.0%
70歳～	40	7.7%	63	12.2%	32	6.2%	57	11.0%
(空白)	3	3.2%	4	4.3%	1	1.1%	3	3.2%
総計	296	15.0%	555	28.2%	154	7.8%	343	17.4%

第3次鎌倉市図書館サービス計画 2018.10.31 現在（案）

	オ		カ		キ		ク	
	図書館HPやメールによる おすすめ本や新着本、イベ ントなどの情報提供 (人)		利用者のニーズをふまえた 閲覧室の改善 (人)		飲食スペース・公園（広 場）などとの複合化 (人)		その他 (人)	
～17歳	4	30.8%	4	30.8%	5	38.5%	1	7.7%
18～19歳	4	14.3%	8	28.6%	13	46.4%	8	28.6%
20～29歳	13	26.0%	18	36.0%	18	36.0%	18	36.0%
30～39歳	47	27.0%	58	33.3%	87	50.0%	55	31.6%
40～49歳	126	33.2%	143	37.7%	180	47.5%	76	20.1%
50～59歳	122	35.8%	152	44.6%	139	40.8%	83	24.3%
60～69歳	128	34.3%	115	30.8%	143	38.3%	66	17.7%
70歳～	158	30.6%	133	25.7%	138	26.7%	108	20.9%
(空白)	5	5.3%	6	6.4%	11	11.7%	9	9.6%
総計	607	30.8%	637	32.4%	734	37.3%	424	21.5%

5 図書館では現在下記のサービスを行っています。ご存知のものに○をつけてください

(複数回答可)。

	サービス項目
ア	自由に館内で本や新聞、雑誌を読んだり、選んだりできる
イ	資料が無料で貸りられる
ウ	平日の木曜日と金曜日は19時まで開館している
エ	資料のコピーが取れる(著作権範囲内、有料)
オ	紙芝居舞台や大型絵本なども借りることができる
カ	自動貸出機がある
キ	図書館員が資料を探す相談や、調べ物の相談をうけることができる
ク	図書館ホームページから蔵書検索や予約・貸出期間の延長などができる
ケ	図書館にない本をリクエストできる(市内在住・在勤・在学の方のみ)
コ	市外・県外・国会図書館から本の取り寄せができる(市内在住・在勤・在学の方のみ)
サ	子ども向けの催し物(おはなし会等)の実施
シ	一般向けの催し物(展示会・映画会・講座等)の実施
ス	障がい者サービス(録音図書デイジーの郵送貸出、拡大読書機や本の読み上げ機器の設置など)の実施
セ	ブックスタート(鎌倉市で生まれたすべての赤ちゃんに絵本をプレゼントする子育て支援)の実施
ソ	小中学校への図書の貸出等、学校支援の実施
タ	館内でインターネット検索、データベースが利用できる
チ	図書宅配サービスがある(実費、返却可)
ツ	デジタル資料(鎌倉に関係ある古文書・古地図など)を図書館ホームページから見られる

6 このほかに今後図書館に必要なと思うサービスがあったら、○をつけてください

(複数回答可)。

答可)。

	サービス項目
ア	電子書籍の貸出
イ	無料で使えるWi-fi
ウ	タブレット端末機の館内貸出
エ	音楽データベース
オ	図書館のホームページやメールによるお勧め本や新しく入った本、イベントなどの情報提供

3. 用語解説 (アイウエオ順)

IC タグ

IC チップとアンテナを紙製の札として作った、電波を受けて働く小型の電子装置。IC タグをつけることによって、電波で本を一冊ずつ識別・管理することができる。所蔵資料に貼付することで未貸出資料の館外帯出や紛失の防止、自動返却処理等が可能になる。

LLブック

「やさしく読みやすい本」という意味のスウェーデン語 (L ättl äst) の略。文字情報を正確に読めない・読むことが苦手な人のために読みやすく書かれた本。幼児向けという意味ではなく、それぞれの生活年齢に合った内容が、易しく理解できるよう配慮されている。

MARC

MARCとは機械可読目録 (Machine Readable Cataloging) の略。書誌情報をコンピュータ処理が可能な形で記録したもの

YA

YA とはヤングアダルト (Young Adult) の略。若い大人という意味で 10 代の利用者を指す。児童と成人の中間に位置する 10 代を、独特の配慮を要する利用者層として位置づけ、サービスを行っている。ティーンズサービスと呼ぶこともある。

おはなしボランティア

市の子どもの読書活動を推進し、図書館と市民との協働を進めるため、主におはなし会やブックスタート、訪問サービスといった図書館行事で読み聞かせなどを行っている。鎌倉市内在住・在勤で、図書館が実施している「おはなしボランティア養成講座」の修了者のみボランティアとして登録することができる。修了者対象の「ステップアップ講座」も実施している

学習パック／よみものパック／子ども読書パック

かまくら読書活動支援センター (深沢図書館) で行っている貸出サービス。市内小・中・高等学校、その他図書館長が認める施設へ搬送・貸出している。学習パックは調べ学習に役立つ資料をテーマごとにセットにしたもので、よみものパックはおすすめの読みものとして選んだ本のセット、学校の要望に応じて資料を集める子ども読書パックがある。

国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館が公共図書館・大学図書館等に対して行っているサービスのひとつ。国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版など入手が困難な資料について、各図書館のパソコン上で閲覧等の利用をすることができる。鎌倉市図書館では現在、中央図書館でのみ利用が可能。なお、著作権保護期間が満了した資料、著作権者の許諾を得た資料等でデジタル化・公開された資料については、個人宅のパソコンからも閲覧することができる。

サピエ図書館

日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っている図書館。会員登録することによりホームページから点字データ、デイジーデータをパソコンや携帯電話にダウンロードすることができる。また、加盟している図書館が所蔵する資料を、オンラインリクエストなどによって利用できる。

サービスポイント

地域館、分館、貸出所などのこと。直接利用者に対して図書館サービスの一部もしくは全部が行われる場所。

レファレンス

調べごとや探しもののお手伝い。何らかの情報を求めている人に対し、図書館員がその回答や参考となる資料を紹介するなどして、利用者に必要な資料や情報との出会いを助けるサービス。

ブックスタート

地域のすべての赤ちゃんに絵本を手渡し、赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり心触れ合うひとときをもつきっかけをつくるための事業。鎌倉市図書館では、市民健康課が行っている「6ヶ月児育児教室」内で実施している。

ブランクエリア

図書館から遠く、図書館サービスを利用することが困難な地域。

大活字本

弱視者（低視力者、高齢者など）にも読みやすいように、大きな活字で版を組みなおされた本のこと。

対面朗読

視覚障がい者および自分で文字情報を読むことが困難な人のために、図書館員もしくはボランティアが希望の資料を朗読するサービス。

デイジー／マルチメディアデイジー

デイジーとは、CD-ROMなどに録音した図書のこと。通常と録音図書と違い、大量の情報を蓄積でき、読みたいページへのジャンプ機能がついているなど利便性が高い。デイジーは専用の機器でしか再生することができないが、一般的な利用ができるようパソコンでの再生に対応したものがマルチメディアデイジーである。文字・音声・画像を同時に再生でき、文字の大きさや読み上げるスピードの変更なども可能。どちらも印刷された文字を読むことが難しい障がいをもつ人などの読書手段として利用される。

デジタルアーカイブ

文化資産をデジタル映像で保存蓄積するもの。鎌倉市図書館では近代史資料室の古写真等を順次デジタル化し、ホームページ上で公開している。

データベース

民間会社や公的機関が作成した情報データベースで、利用するためには有料の契約が必要なものもある。官報や判例、過去の新聞記事の検索ができるものなどがある。

認知症にやさしい本棚

平成30年9月21日より、市内全館で設置。認知症について知る(About)、認知症当事者が語る(By)、認知症の人も利用しやすい(For)の3つの視点から収集した資料を常設のコーナーとし、利用に供している。

パスファインダー

特定のテーマや主題について、関連する文献・情報の探索法を一覧化したリーフレットのこと。これまでに作成したパスファインダーについては、鎌倉市図書館ホームページにも掲載している。

ビブリオバトル

知的書評合戦とも呼ばれる。おすすめの本を持ち寄り、一人5分で紹介し、ディスカッションをした後、参加者全員で「どの本が一番読みたくなったか」を決める催し。

フリー Wi-Fi

自宅以外の公共の場所（駅、空港、カフェなど）において、誰でも無料でインターネット接続ができるように提供・開放されている無線LANサービスのこと。導入することで、図書館内の好きな場所で、手持ちの端末を利用した調べものができるようになる。